

菊陽人 りさーち



なかはら こうたろう
中原 冨太郎くん
(7歳・緑ヶ丘)

- 趣味
野球
- 将来の夢
野球選手
- 自慢できること
跳び箱
- 今一番やりたいこと
バク転ができるようになりたい

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



ひおき はると
日置 陽人くん
(7歳・緑陽台)

- 趣味
サッカー
- 将来の夢
サッカー選手
- 自慢できること
習字
- 今一番やりたいこと
ハットトリックを決めたい

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.53】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

※作者の学年は前年度の学年を表しています。
◇印からの文章は先生のコメントです。

私は、NHK熊本放送局に行きました。最初バスの中では、「楽しそうだなあ、早く行きたいなあ」と思っていました。でも、リハーサルが終わってハコダ先生から、「本番いきまーす。」と言われたから、きんちようしてきました。でもキャスター担当のカワグチ先生がカンペをやってくれて、愛実ちゃんと私のきんちようをほぐしてくれました。私は肩の力を抜くことができました。フロアディレクター瑞空さんの三十秒前、二十秒前、十、九、八、七、六・・・」

「五、四、三、二、一」というマークの後、「スタート」のマークが出されました。最初は愛実さんのセリフでした。その時私は、たんにんの先生がおっしゃっていた、

「キャスターはね、どんなことがあってもやりとげないといけないんだよ。」という言葉を思い出しました。だから私は、きんちようしながらも勇気をふりしぼってがんばって言いました。

私は、「リポーターの陽子さん。」と言ったところをまちがえてしまいました。でも、カワグチ先生は、



▲放送体験

「ドキドキわくわくした放送体験」
菊陽南小学校5年 坂上 莉奈

「O.K.だったよ。」と言ってくれました。とってもうれしかったです。

次にハコダ先生が、「みんな上手だったから、早く終わったんだけどどうする？」と聞きました。私は、思いつき「もう一本やります。」と答えていました。理由は、いい体験にと思ったし、時間もあつたし、何よりもさつき間違えたりベンジだ！と思ったからです。

みんなが同じように答えたので、ハコダ先生が、「じゃあもう一本やろう。」と言ってくれました。だから、もう一つの台本「野生のパンダ」もやることになりました。

次こそは、と思つてやろうとするけど、どうしても「本番でーす。」と聞こえたらきんちようします。でも、さつきのリベンジをするんだ！と思えばがんばれました。

「O.K.でーす。」

私は一回も失敗しませんでした。私はこの経験でキャスターについてわかることができました。それに忘れかけていた将来の夢「キャスター」に、またなりたいたいと思うようになりました。そして、いまの「かくこく委員会」でも、経験を生かしたアナウンスができるようにがんばろうと思います。

◇5年生になって初めのころは、人前で話すのが苦手だった莉奈さん。でも、友達とのつながりや体験活動を通して、自分に自信が持てるようになってきました。今では、友達の良いところを見つける名人です。何事も諦めずに前向きに取り組んでいます。

うれしいことがいっぱいあるお母ちゃん
武蔵ヶ丘北小学校2年 赤星 海柊



▲お母さんが大好きです
ぼくのお母さんは、かんとしです。仕事は、病気の人をなおすのにお手伝いをします。かん

じゃさんの病気がなるとうれいとお母さんはよろこびます。ほかに楽しいことは、みんないっしょに楽しく仕事ができるのが楽しいと言っています。こんないっぱいしているのに、楽しいのがふしぎです。なんでぼくは目のけんさをするのは楽しくないのに楽しいんだらうと思ひます。ぼくも大人になってお母さんみたいになってみたいです。

でもお母さんがちよつとさみしいことは、なならない病気の人がいるときです。お母さんのかなしいきもちがつたわります。

お仕事でお母さんはかなしいきもちうれいいきもちがあるんだなと思ひました。かなしいときがあつたらすすたいです。

◇お母さんは、たくさん仕事があつて忙しいのに、楽しく仕事をされているところを不思議に思つていたので、お母さんから話を聞いて分かつたことがたくさんありましたね。お母さんが悲しい時に助けたいという海柊さんの優しい気持ちが伝わってきます。

菊陽句会報

きくよう文芸

| | | | |
|-----------------------------------|-------|-----------------|-------|
| お呼ばれの膝の気なる夏座敷 登り来て老鶯静寂かな | 坂本百合子 | 笹竹で友等と蜜追ひし夜も | 吉野 早苗 |
| 夏神楽舞台に白蝶舞ふごとし 腕白も神妙なるや鰻喰う | 田中 郁子 | 旅の日や京に燃えある百日紅 | 井上久美子 |
| 思ひ切背伸びして咲くカンナかな ひとひらに一片の香や連咲けり | 井 子文 | さざ波を被りてそよぐ植田かな | 宮川ユキエ |
| 子端端すでに聞ふ姿あり 阿蘇に夏復興願ふ歌響く | 財津 早雪 | 七夕や今更願ふこともなく | 日高 妙子 |
| 凛々しきや田植ゑる夫の別の顔 麦藁帽孫は砂場にくぎ付けに | 原野レイ子 | 辻地蔵頸紐しかと夏帽子 | 曾我 育代 |
| 盆休み線香けむる置部屋 戦時記を採し当てる梅雨晴れ間 | 力 幸子 | 田搔終へ隅におかれしトラクター | 曾我トモ子 |
| | 寺尾千代子 | 白桔梗一茎扇に風生るる | 紫藤 祥子 |
| | 高橋 孝子 | 土に汗吸はせ草取る昼下がりに | 村上 朋子 |
| | 堀川 妙子 | 夏空を阿蘇に駆けゆく通り雨 | 野口 令史 |
| | 福田 貴子 | 手を挙げるだけの挨拶を列る | 松橋 強 |
| | 佐藤 健 | シャンソンの調べに集ふ月見草 | 藤本 純子 |
| | 佐藤 節 | 徒花と思へど美しき糸瓜棚 | 佐藤 澄世 |

短歌会

ひさびさの雨に蛙は田の中を水草分けて軽く泳ぎぬ
小松菜の本葉は二枚に育ちおりこの時を見てまた種を播く
陽炎のゆらぎにゆられ妻の背もともにゆらぎて帰る野の道
人のみの渡る吊り橋過ぎにけり潮の香りに戸惑ふ瞬間
石白く乾きて河原の片隅に光る水見ゆ橋の上より
植え付けの終わりに田の面は清々と流るる雲と空の青さよ
夏空に百日紅の花揺れてうだる暑さに傘差して行く
お互いに足腰の痛み語り合ひ今日も和やかにハビリセンター
六月の雨に打たれし花菖蒲皆咲きはこる松濱軒に
朝すでに暑き厨に汗しつ々夏大根を拍子木に切る
愉快なり愉快と言へるは愉快なり暑き朝々にヨシキリは鳴く

今村 貞子
梅田 國雄
河北 幸一
菊川あさみ
佐藤せい子
下田 久子
中村トシエ
福原 玲子
松岡富紀子
山川 カヅ
松本 東亜